

2025年度 総合型選抜Ⅱ 国際社会志向型

適性検査

I 次の英文を読んで、問いに答えなさい。

People have pet cats for [ア] reasons. Cats can be fun. And of course, they are cute. But that's not all – they can also be very useful! Cats are natural predators. They are skilled at catching small animals, like mice, rats, birds, and snakes. Keeping a cat around is an effective way to keep mice out of your food storage!

Modern cats evolved from at least one subspecies of wildcat called “Felis lybica”. These are also [イ] as African wildcats, even though they live in Europe and Asia too. Scientists think wildcats started hunting rats and mice around human settlements over 10,000 years ago. That's around the time that people first started ①farming. Over time, these wildcats evolved to enjoy the presence of people. We wanted to find the center of origin for domestic cats – the place where people and cats first started to live together.

We started by thinking about where cats' center of origin could possibly be. We gathered DNA samples from 2,001 random cats from 85 sites in 40 different countries. Most of our samples came from Europe and Asia. We also ②analyzed 4 African wildcats and 10 samples from cats that were likely mixes between European wildcats and domestic cats. We then used statistics to describe the most important similarities and differences in the cats' DNA. That told us about the genetic diversity of cats in those areas. The area with the highest genetic diversity is probably the center of origin.

Our analysis gave us some interesting results! The places with the highest genetic diversity are [ウ] in the eastern Mediterranean region. Cats who live far apart from each other have bigger differences in their DNA. Cats from the Americas, Australia, Kenya, and Tunisia are closely related to European cats. That's because Europeans colonized these places in the past.

The story of cats spreading out [エ] the world mirrors the story of human migration. Our results tell us that cat domestication probably ③begin in the eastern Mediterranean. Today there are cats on every continent except for Antarctica. But their DNA still connects them to their center of origin in the eastern Mediterranean!

(Adapted from Lyons, L.A., Nilson, S.M., Decker, J.E., et al. Where did cats first start living with people? *Social Science Journal for Teens*, April 2023.

https://www.sciencejournalforkids.org/wp-content/uploads/2023/04/cats_article.pdf)

II 次の英文1～8の() 内に入る最も適切な語を、それぞれ選択肢①～④から一つ選び、[] に記入しなさい。

1. Last week they () a lot of rain in France.
① had ② fell ③ rained ④ was
[]

2. How long does your bento () to make?
① last ② take ③ cook ④ have
[]

3. I dropped my smartphone and the screen cracked () pieces.
① into ② inside ③ many ④ with
[]

4. I spilled some fruit juice on my brand-() shirt.
① white ② clean ③ new ④ best
[]

5. Actually, I've already () that movie.
① been ② looked ③ went ④ seen
[]

6. My best friend gets the () grades in her class.
① biggest ② most ③ highest ④ tallest
[]

7. He used her bike () asking permission.
① not ② without ③ didn't ④ unless
[]

8. Okinawa has warm weather all year ().
① round ② total ③ together ④ down
[]

Ⅲ 次の1から8の英文の()内の語を日本語の意味になるように並べかえ、文を完成させなさい。

1. 台風のため、列車のダイヤが遅れています。

The (are, typhoon, trains, late, a, because, running, of).

The _____.

2. 私は英語に加えて、ドイツ語も勉強したい。

I (English, study, addition, in, to, German, to, want).

I _____.

3. 彼女は今学期がんばって勉強している。

She (semester, hard, this, working, is).

She _____.

4. 船で旅行するのは大変面白いです。

Traveling (is, by, lot, fun, boat, of, a).

Traveling _____.

5. 私の友人は大学で化学を研究している。

My (chemistry, is, at, friend, university, studying).

My _____.

6. 写真に写っている人は皆にここにこしている。

Everybody (is, in, smiling, picture, the).

Everybody_____.

7. 私は白いバラより赤いバラの方が好きだ。

I (ones, like, red, better, white, than, roses).

I_____.

8. 私は若いときよく野球をした。

I (played, when, often, baseball, young, was, I).

I_____.



Ⅱ 次の文を読んで、問いに答えなさい。

訂正する力への注目は、ヨーロッパの思想から出発して考えたものです。ここまで日本思想の話はほとんどしていません。とはいえ、訂正の考えかたを使つて、日本思想を批判的に継承していくこともできるはずです。

戦後日本のリベラルを代表する政治学者の丸山眞男^{まるやままことお}は、「歴史意識の『古層』」という有名な論文で、日本文化を特徴づける言葉として「つぎつぎになりゆくいきほひ」というフレーズを提案しています。簡単に説明すると、「つぎつぎ」は継続性、「なりゆく」は生成性、そして「いきほひ」は空気を指します。ものごとがなんとなく自然と生まれてつながっていく。そういう発想が日本の思想や政治を動かしてきたと言うのです。

これは難しい話ではありません。たとえば明治維新。さまざまな志士が活躍したものの、過程は複雑でよくわからない。そもそも最初は攘夷^{じょうい}だったはずなのに、いつのまにか開国になっている。それなのになんとか成功している。だから「明治維新の思想」なるものはとくにない。この国には、そういう自然生成性や主体性のなさを肯定する風土があります。

また、「主体など(と)虚構^{きょこ}で、自然生成こそがものごとの本質なのではないか」という問題意識は、けつして日本特有のものでもありません。ヨーロッパ哲学でも深く考えていくと、やはりそういう思想にたどりつきます。有名なのは、20世紀を代表するドイツの哲学者、マルティン・ハイデガーですね。彼には「生起」という有名な(と)概念^{がいねん}があります。存在はなんとなく生成するのです。

日本でも、京都学派のひとたちはハイデガーがとても好きでした(ここではハイデガーの前期と後期の差異には立ち入りません)。京都学派とは、戦前、京都大学を中心に集まった思想家たちのグループです。東西文化の(と)コウゴウ^{こうごう}を目指しただけではなく、日本がその役割を積極的に担うべきだとして、「大東亜戦争」を思想的に肯定したことで知られます。

彼らがハイデガーに近づいた理由はよくわかります。彼らはハイデガーに「日本的なもの」を見たのだと思います。ヨーロッパの哲学を勉強していると、ときどき日本の思想が逆に最先端に見えるという逆転が起こります。日本のほうがさきに「(X)」と言つていたじゃないか、というわけです。そういう思想はヨーロッパでは過去の哲学の批判になるのですが、日本だと逆に働いて、単なる自己肯定になり国家主義などと結びつくというジレンマがある。

戦後の日本哲学はこのジレンマのなかで動けなくなりました。ヨーロッパ哲学だけ学んでいてもしかたない。とはいえ日本の伝統を加えてオリジナルなことをやろうとすると、京都学派の轍^{わだち}を踏む可能性がある。

そこでぼくは「訂正する」という考えかたを導入したい。訂正するとは、これまでも言つて

きたように、とりあえずはいまの状況を受け入れるということです。過去を受け入れて、それを守っていく。

けれども、よく見ると過去を守る行為には必ずズレが生じる。同じゲームをプレイしているつもりでも、ルールがいつのまにか変わっていく。しかし、どう変わっているかは当事者にもわからない。伝統を受け継ぐとはイコール伝統を変えるということだし、ゲームに参加するのはイコール規則に違反もしてしまうということで、そのルール違反がまたゲームを豊かに変えていつたりもする。

こういう考えかたを取ることによって、「つぎつぎになりゆくいきほひ」の支配も前向きに再解釈することができるのではないか。単に過去の無責任に居なおるのでもなく、他方で過去を全否定するのでもない、第三の道が開けていくのではないか。「つぎつぎになりゆくいきほひ」の国だからこそ、過去を訂正しつつ、ゆつくりとまえに進んでいくことが大事だと考えればいいのではないか。

言うなれば、「つぎつぎになりゆくいきほひ」を、リベラルな観点から捉えなおしてみてもどうかというのが、この章の提案です。

丸山眞男は「作為」と「自然」の対立について考えた思想家でもありました。

丸山は『日本政治思想史研究』という本（の第一論文）で、日本の近世思想を扱っています。20代のころの仕事で、戦前に書かれましたが戦後に出版されました。日本への儒学（朱子学）の導入がなぜ儒学とかけ離れた国学の誕生につながったのかを、伊藤仁齋が先行の学者を批判し、荻生徂徠が仁齋を批判し、本居宣長が徂徠を批判し…といった批判の連鎖として迎えるという著作です。

ぼくはこの本が好きなのですが、そこであきらかにされているのは、ひとこと言えば、中国から哲学を輸入したはずの日本の思想界が、いろいろ議論を進めるなかで、最終的に中国哲学そのものの排除に行き着いてしまうという（一）逆説です。

その逆説を象徴するのが、宣長が強調した「漢意」と「大和心」という対立です。一方に外国からやってきた作為（漢意）があり、他方に日本本来の自然生成性（大和心）がある。われわれは前者を捨てて、後者に戻らなければならない。宣長はそう主張したわけですが、この構図には、日本思想がその後抱えることになった問題の雛形（ひながた）がはつきりと現れています。

それは（二）キョウギの思想の問題にかぎりません。たとえば漢意と大和心の対立は、いまではリベラル派と保守派の対立に引き継がれていると考えられます。

リベラルは外国の理論を使う。保守は日本を大切にする。いまではみなそういう対立を自明なものだと思っていて、リベラル派は日本の伝統に近づくことができません。まったく不自由ですが、それはじつは宣長がつくった対立でもあるのです。そして、丸山があきらかにしたの

は、そんな対立そのものが、じつは近世思想の展開のなかでつくられた一種のフィクションだということだ。

だとすれば、その対立を、訂正の概念を使って乗り越えることも可能はずです。

日本の言論はとにかく不自由です。日本的なものを肯定しようとする、無批判な現状肯定と結びついてしまう。

他方で現状肯定を避けようとする、海外から「最新」の価値観をもってきて、ヨーロッパ「では」こうだと唱える「出羽守」^{でわのりかみ}になってしまふ。その対立を抜け出すためには、訂正する力に頼るしかありません。

ひとつ具体例を挙げましょう。このところLGBTの話題が盛んです。しかしそこでの議論は不必要に混乱している。

2023年6月にはLGBT理解増進法が可決されました。左派は規定が不十分だと批判しています。他方で右派は法律そのものが必要ないと反発している。彼らのなかには、「キリスト教文化圏のほうがよほど性的マイノリティを差別していた。日本にはそんな差別はなかった」と主張するひともあります。

これは不毛な対立です。たしかに日本には性的マイノリティを受け入れる一定の伝統があったでしょう。それをすべて差別と呼ぶのはしつくりこない。とはいえ現在の基準でマイノリティの人権が十分に認められていたかといったら、それも違う。

② 多様性はゼロかイチかの選択ではありません。結局のところ、それぞれの国の文化のなかで、伝統も残しながら、それをどうアップデートして未来につなげていくかという発想を進めるしかない。

ところが日本では、それがすぐに、ゼロかイチか、過去を否定するか肯定するか、リセットするかなにも変えないかの対立の議論になってしまふ。少しでも動こうとすると両方の勢力から批判される。そういう風土を変えなければなりません。

LGBTをめぐる論争では、『ストップ！！ひばりくん！』というマンガがしばしば話題になりました。江口寿史^{えぐちひさし}さんの1980年代前半の作品です。

主人公の大空ひばりというキャラクターは、女装した男の子です。作品のなかで主人公は差別を受けているのですが、同時にそういう^毛シセンを跳ね返してもいる。

こういう作品をどう解釈するか。保守派はこの作品を、日本では昔からクィアが活躍していた事例として読もうとする。他方でリベラル派の一部は、「ひばりちゃんは差別に苦しんでいた。そんな作品をコメディとして消費していたこと自体が人権意識の欠如だった」と言う。これは両方ともあまりに単純な読みかたのように思います。

そもそも娯楽作品は政治的なメッセージのためにつくられるものではありません。客観的に言えるのは、⁽³⁾日本ではすでに1980年代前半に、LGBTの人物を主人公とするマンガが広く読まれるようになっていたという事実だけです。

ぼくたちがすべきなのは、その事実を、これからの社会をLGBTのひとたちが生きやすいものに変えていくためにいかに使っていくべきかという、前向きの議論です。それが訂正する力の発想です。

日本のマンガ、アニメ、ゲームのなかには、性にかぎらず、欧米の娯楽にはない多様な表現が見られます。本書では深入りしませんが、そんな蓄積は日本をよくするために使えるはずで

(東浩紀「訂正する力」による)

問1 傍線部(ア)・(イ)の漢字を平仮名にしてください。

(ア) 虚構 ()

(イ) 概念 ()

問2 傍線部(ウ)・(エ)・(オ)のカタカナを漢字にしてください。

(ウ) エウゴウ ()

(エ) キョウギ ()

(オ) シセシ ()

問3 空欄（ X ）に入る文章として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 主体こそが存在だ。生成など虚構だ
- ② 主体なんて存在しない。生成するだけだ
- ③ 生成こそが主体だ。生成が存在するだけだ
- ④ 存在こそが生成だ。主体が本質だ
- ⑤ 生成なんて存在しない。主体など虚構だ

問4 傍線部（1）の「逆説」について本文中の意味を最も適切に説明しているものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 批判の連鎖として漢意による国学が生まれたこと。
- ② 中国から導入された漢意を捨て、日本本来の作為に戻ったこと。
- ③ 作為を尊重する姿勢が、大和心の哲学を生んだこと。
- ④ 中国からやってきた哲学を批判して、日本本来の自然生成性に戻ったこと。
- ⑤ リベラル派が日本の伝統に近づけないから、大和心に戻ったこと。

問7 本文の内容に合致する最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① ハイデガールの「生起」という概念が、「自然生成」が本質だと考える日本の伝統的な思想に通じていることを踏まえて、日本的な保守主義を新たに提言すべきだ。
- ② 過去の問題点を全否定するのではなく、伝統の良さを無批判に踏襲するのではなく、過去や伝統を訂正しながら、ゆっくり社会をよくしていくべきだ。
- ③ 社会には様々な課題があり、それを知的な論理と議論の積み重ねで改善し、正しいルールを設定、どんな人でも生きやすい社会に設計していくことが必要である。
- ④ 国には、それぞれの文化、伝統があることを踏まえ、それぞれの国の良さを尊重しながら各国の価値観を統合していくことで、グローバル社会を創造すべきだ。
- ⑤ 海外の最新の価値観から学び、それに基づいてルールや法を設定することで、日本社会の伝統を変化させ、多様性のある社会にすべきだ。

点

V 次の1～15の問いに、日本語（いわゆるカタカナ語を含む）もしくはアルファベットで答えなさい。

問1 国連の本部が所在する都市はどこか。

()

問2 2023年から始まったパレスチナ自治区でのガザ衝突は、イスラエルとガザを実効支配する組織との対立であるが、この組織の名前は何か。

()

問3 2024年に日本の国内総生産(GDP)を抜いて世界3位に上昇した国はどこか。

()

問4 韓国が不法占拠する数十の小島からなる日本の竹島はどの都道府県に属するか。

()

問5 2023年4月4日、北大西洋条約署名74周年の日に同条約機構に加盟した国はどこか。

()

問6 南アフリカが1948年から1994年まで行っていた法に基づく人種隔離と差別の制度とは何か。

()

問7 ユネスコ（国連教育科学文化機関）が分類した消滅の危機にあるとする日本の言語（言語及び方言を含む）8言語のうち、その危機が「極めて深刻」とされている言語は何か。

()

問8 2023年時点で、世界で最も多くの世界遺産登録数を持つ国はどこか。

()

問 9 背景に浮世絵が描かれジャポニズムが端的に表現された絵画『タンギー爺さん』を描いたオランダ出身の画家は誰か。

()

問 1 0 古代オリンピックで最初に行われた競技は何か。

()

問 1 1 世界銀行が定めた国際貧困ラインを基準に、国・地域の生活レベルとは無関係に、生きるうえで必要最低限の生活水準が満たされていない状態を何と言うか。

()

問 1 2 国連世界観光機関の統計に基づくと、2019年に世界で最も外国人旅行者の受け入れ数が多い国はどこか。

()

問 1 3 2024年7月現在で、時価総額世界一位に浮上した半導体メーカーは何か。

()

問 1 4 SNS上で、有名人などになりすまして投資を呼びかける偽の広告が広がっている問題で Facebookなどを運営する会社が提訴されたが、この会社名は何か。

()

問 1 5 2024年7月に、日本銀行が新たに発行した10,000円札の表面の肖像画として採用された人物は誰か。

()

点